事務事業 評 [様式1] 平成19年度 価 表 平成19年3月30日 記入年月 記入 者 連絡先 2736 平成18年度部名 経済部 課 農林課 課長名 宮崎 孝司 名 課長名 平成19年度部名 経済部 課 農林課 小峰 幸夫 事 務 事 業 名 農産物振興対策事業 予算上の事務事業名 農産物振興対策事業 1 総合計画における位置づけ 施策コード 31510 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして 標 「躍動し 政 策 名 第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします 本 施 名第5節 都市農業の振興 名第1施策 安定した農業経営の確立 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 相模原市野菜振興対策事業補助金交付要綱、相模原市果樹振興対策事業補助金交付要綱、相模原市花 卉植木振興対策事業補助金交付要綱、野菜格付検査員設置基準 3 個別計画の概要 概要 計画名 計画年次 年度~ 年度 4 事業形態の区分 助成(給付·補助·貸付) **▼** 5 事業開始年度 昭和63年以前 • 6 事業概要 (1)事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)

(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。

野菜、果樹等の農産物の生産性向上、経営安定、市内消費の拡大等を図るため、機

(2)対象(誰、何)

市内生産者

野菜振興対策事業・果樹振興対策事業

械・施設の整備及び資材・薬剤の購入等に対し助成。

相模原市園芸連絡協議会及び相模原市果実組合に対し、防除用薬剤、出荷・直売資材等の購入費の1/3を助 成。(6,026千円)

相模原市果実組合の事業への補助

果樹の栽培技術研修や品質改善等に組織的に取組む相模原市果実組合に対し、定額で補助(122千円)。 野菜格付検査員の設置

野菜生産出荷体制を整備し、生産物の品質向上と規格の統一を図り、市場性を高め価格の安定を期するため、野 菜格付検査員を設置。(謝礼 240千円)

関連・類似事業又は他市の状況

環境保全型農業導入支援事業(関連資材導入支援補助金)減農薬・減化学肥料に対応し、環境に配慮した資材 導入に対して助成。

認定農業者育成事業(認定農業者育成事業補助金)機械やハウス等の資本装備の整備に対し助成。

8									
年	度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
事	業費	9,166	8,409	6,398	6,910	7,500			
	一 般 財 源	9,166	8,409	6,398	6,910	7,500			
	受益者負担金	0	0	0	0	0			
•	その他の特定財源	0	0	0	0	0			
人	件費の合計	827	658	658	658	658			
事	業コスト合計	9,993	9,067	7,056	7,568	8,158			
9	9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率								
	事業名 (主たる事業名)	野菜振興対策事	業	対象名称 と単位 団体数					
年	度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
事	業コスト(主たる事業)	5,187	6,424	4,091	4,380	4,500			
対	象数	1	1	1	2	2			
	位あたり経費(円)	5,187,000	6,424,000	4,091,000	2,190,000	2,250,000			
前	年 度 比		1.24	0.64	0.54	1.03			

10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの										
指標名 土壌病害虫防除対策(野菜振 指標式と と単位 興対策事業)										
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度					
実績	3,069.0	2,875.0	2,703.0							
目 標	3,069.0	2,875.0	2,705.0	2,983.0	3,000.0					
目標達成度(%)	100.0	100.0	99.9							
11 成果指標・・	・もたらしたい店	成果の達成度を数	対値化したもの							
指標名 と単位 いも・根菜類の市内生産量 指標式と サツマイモ・ジャガイモ・ダイコン・ニンジン・サト 指標の説明 イモ・ヤマトイモの市内生産量(t)										
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度					
実 績	3771.0	3565.0	4351.0							
目標	3923.0	3771.0	4484.0	5050.0	5050.0					
目標達成度(%)	96.1	94.5	97.0							
1 2 個別評価										
(1) 妥当性の評価	〔A:妥当でゐ	ある・B:妥当性	生に課題がある・	C : 妥当でない)						
	_ ・法令、条例Ⅰ	こより実施するこ	ことが義務付けられ	れている。						
	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。									
I A [・公益性が高い、または必需性が高い事業である。									
	√」・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。									
			ふさわしい事業で							
(2) 有効性の評価			<u>ŧを高める余地が</u>		ごない 〕					
			とめに大きく貢献							
l B			大きく貢献してい.							
	✓ ・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。✓ ・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。									
(3) 効率性の評価			tを高める余地がる	める・C:効率刀	、悪い」					
		の経費は適正です		リトのコフト 節浦	の合地がわり					
l B	 」・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。 √ ・受益者負担や補助等の割合に問題はない。									
	○ ・支温有負担や補助等の割らに同題はない。○ ・事業の実施方法や実施体制は適正である。									
(4) 民間活力また										
(+) [[する方が適してい	1る.					
4 m	□ ・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。□ ・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。									
無	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。									
	一・市で実施する方が民間委託等をするより適している。									
13 総合評価(一	次評価)									
(1) 自動判定結果										
		好な状態を維持 ⁻								
		ね良好な状況で	=							
		直しを行う必要		NIZ						
〔 〕:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業										
(2) 事業所管課長	による評価(今後		3)事業所管課長							
	・拡充・充実		野菜の生産性の向」 図るためには、本市							
現状維持	√ ・現状維持		等への支援は必要不		思りるこれ来見り					
トンのハンが圧 1.7	□・見直し									
	・廃止									
14 成果向上及び	効率性を高めるための方策		15 課題として認識されたこと							
・共通の出荷資材や		建進し、流通の ・	・販売農家の減少により安定供給できない。							
円滑化を図る。		克际	・市内流通の仕組みの構築。							
・共同で土壌病害虫の生産量を増やす。	り 防 以 束 を 美 他 し 、		・通いコンテナの導入を図る。 ・労働力を省力化できる技術や資材の導入を図る。							
<u>ジェ圧主と行じす。</u>										
16 二次評価										
(1) 局内評価会議		後の方向性) (2) 二次評価コメ	ハント						
	・拡充・充実									
▋現状維持	√ ・現状維持									
プルコハア注1寸	・見直し									
	・廃止									